

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-3348

(43)公開日 平成11年(1999)1月6日

(51)Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 15/40

3 1 0 F

17/60

G 0 9 F 27/00

E

G 0 9 F 27/00

G 0 6 F 15/21

Z

15/403

3 8 0 D

審査請求 未請求 請求項の数21 O L (全 11 頁)

(21)出願番号

特願平9-153716

(22)出願日

平成9年(1997)6月11日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 伊原 正典

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

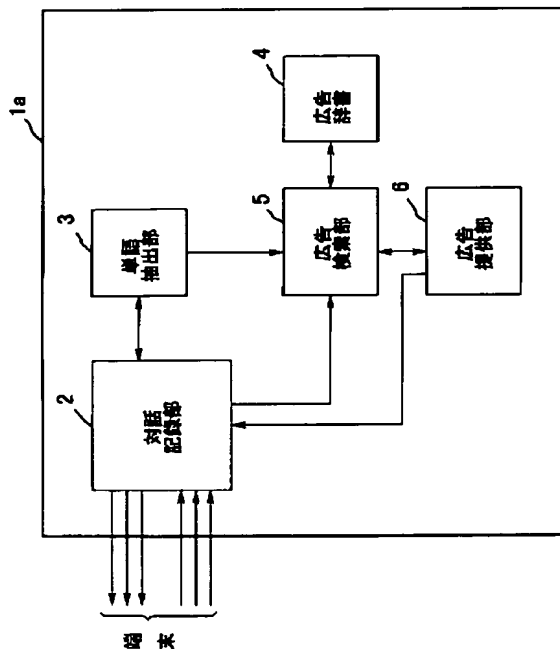
(74)代理人 弁理士 藤本 博光

(54)【発明の名称】 電子対話用広告装置

(57)【要約】

【課題】 電子対話に参加している会話者に対して、欲しい情報を欲しい時点で入手することが可能とすると共に、広告をする側においても会話者が必要とする情報を必要とする時に提供して効率の良い広告が行なえるようにする。

【解決手段】 広告装置1aは、チャット内容を記録する対話記録部2と、対話記録部2から単語を抽出する単語抽出部3と、広告内容を収納した広告辞書4と、抽出した単語と一致する語句に関する広告を広告辞書4から選択する広告検索部5と、選択した広告を対話記録部2に記録する広告提供部6とからなる構成である。この構成により、会話参加者が入力した文章内の単語が、登録されている語句と一致した場合、それに合致した広告メッセージが提供される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 広告内容を収納した広告用辞書と、
電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出する単語抽出手段と、

該単語と一致する語句に関する広告を前記広告用辞書から検索する広告検索手段と、

検索した広告を自動的に参加者に提供する広告提供手段と、を具備することを特徴とする電子対話用広告装置。

【請求項 2】 前記単語抽出手段は、単語の電子対話における使用頻度をカウントし、前記広告検索手段は、該使用頻度の高い単語を優先的にして広告検索を行うことを特徴とする請求項 1 記載の電子対話用広告装置。

【請求項 3】 参加者の入力情報における単語の頻度データを記憶する記憶手段を備え、

前記単語抽出手段は、前記記憶手段から読み出した参加者の過去の単語頻度を加味し、単語を抽出することを特徴とする請求項 2 記載の電子対話用広告装置。

【請求項 4】 前記単語抽出手段は、参加者毎に単語を抽出し、

前記広告提供手段は、参加者毎にそれぞれ広告を行なうことを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 5】 前記広告提供手段は、対話メッセージ内に広告メッセージを表示することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 6】 前記広告提供手段は、独立した広告表示エリアを同一ウィンドウ内に設け、該広告表示エリア内に広告メッセージを表示することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 7】 前記広告提供手段は、独立した広告表示エリアを異なるウィンドウ内に設け、該ウィンドウ内に広告メッセージを表示することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 8】 前記広告提供手段は、広告メッセージを音声で提供することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 9】 前記広告提供手段は、広告メッセージを電子メールとして提供することを特徴とする請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 10】 前記広告提供手段は、登録された広告メッセージをその登録順に提供することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 11】 前記広告提供手段は、登録された広告メッセージを順不同に提供することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 12】 前記広告提供手段は、高額な登録料のものから順に提供することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 13】 前記広告提供手段は、提供中の広告に

対して会話参加者が異なる広告の入手を求めた場合、広告メッセージの内容を変更することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 14】 前記広告提供手段は、提供中の広告に対して会話参加者からの反応がない場合、自動的に広告メッセージの内容を変更することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 15】 前記広告提供手段は、高額な登録料の広告メッセージ程、提供される確率を高くしたことを特徴とする請求項 1 1 記載の電子対話用広告装置。

【請求項 16】 前記広告提供手段は、広告内容を一覧表として表示することを特徴とする請求項 4 ないし 9 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 17】 実際に提供された広告回数に応じて広告料を算出する手段を設けたことを特徴とする請求項 1 1 ないし 1 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 18】 提供された広告に対して会話参加者が実際にアクセスした回数に応じて広告料を算出する手段を設けたことを特徴とする請求項 1 1 ないし 1 4 のいずれかに記載の電子対話用広告装置。

【請求項 19】 電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出し、該単語と一致する語句に関する広告を、広告内容を収納した前記広告用辞書から検索し、検索した広告を自動的に参加者に提供するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 20】 電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出し、単語の電子対話における使用頻度をカウントし、該単語と一致する語句に関する広告を、使用頻度の高い単語を優先的にして、広告内容を収納した前記広告用辞書から検索し、検索した広告を自動的に参加者に提供するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 21】 参加者の入力情報における単語の頻度データを記憶手段に記憶させ、前記記憶手段から読み出した参加者の過去の単語頻度を加味し、単語を抽出するプログラムを記憶した請求項 20 記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電子対話の会話参加者に宣伝を行なう電子対話用広告装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、広告は、放送、雑誌、新聞等において、一方的、且つ、大量に提供されるシステムが一般的であった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従って、このような広告においては、ユーザー側の関心の有無に関係なく、提供されていた。特定の分野に関する放送や雑誌等では、その分野に沿った広告がなされていることが多いが、そ

れでもユーザーの関心に合致するものが網羅されているものとはかぎらなかった。例えば、旅行に関する雑誌であれば、種々の旅行先が多量の情報と共に掲載されていても、読者の関心ある地域、旅行条件等に基づいて詳しく案内されていることは稀である。このように、ユーザーは欲しい情報を欲しい時点で入手することが従来の広告では困難であった。

【0004】また、広告をする側においても、不特定多数に対して、即ち、興味の有無に関係なく広告媒体に接するユーザーに対して同じ広告メッセージを発しなればならず、極めて効率の悪いものであった。また、その広告メッセージがどの程度利用されているかを知ること、他の手段を用いなければできなかった。

【0005】本発明の目的は、電子対話に参加している会話者に対して、欲しい情報を欲しい時点で入手することが可能とすると共に、広告をする側においても会話者が必要とする情報を必要とする時に提供して効率の良い広告が行なえるようにする電子対話用広告装置を提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、広告内容を収納した広告用辞書と、電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出する単語抽出手段と、該単語と一致する語句に関する広告を前記広告用辞書から検索する広告検索手段と、検索した広告を自動的に参加者に提供する広告提供手段とを具備することを特徴とする電子対話用広告装置である。

【0007】請求項2の発明は、請求項1記載の電子対話用広告装置であって、前記単語抽出手段は、単語の電子対話における使用頻度をカウントし、前記広告検索手段は、該使用頻度の高い単語を優先的にして広告検索を行うことを特徴とする。

【0008】請求項3の発明は、請求項2記載の電子対話用広告装置であって、参加者の入力情報における単語の頻度データを記憶する記憶手段とを備え、前記単語抽出手段は、前記記憶手段から読み出した参加者の過去の単語頻度を加味し、単語を抽出することを特徴とする。

【0009】請求項4の発明は、請求項1ないし3のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記単語抽出手段は、参加者毎に単語を抽出し、前記広告提供手段は、参加者毎にそれぞれ広告を行なうことを特徴とする。

【0010】請求項5の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、対話メッセージ内に広告メッセージを表示することを特徴とする。

【0011】請求項6の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、独立した広告表示エリアを同一ウィンドウ内に設け、該広告表示エリア内に広告メッセージを表示

することを特徴とする。

【0012】請求項7の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、独立した広告表示エリアを異なるウィンドウに設け、該ウィンドウ内に広告メッセージを表示することを特徴とする。

【0013】請求項8の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、広告メッセージを音声で提供することを特徴とする。

【0014】請求項9の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、広告メッセージを電子メールとして提供することを特徴とする。

【0015】請求項10の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、登録された広告メッセージをその登録順に提供することを特徴とする。

【0016】請求項11の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、登録された広告メッセージを順不同に提供することを特徴とする。

【0017】請求項12の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、高額な登録料のものから順に提供することを特徴とする。

【0018】請求項13の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、提供中の広告に対して会話参加者が異なる広告の入手を求めた場合、広告メッセージの内容を変更することを特徴とする。

【0019】請求項14の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、提供中の広告に対して会話参加者からの反応がない場合、自動的に広告メッセージの内容を変更することを特徴とする。

【0020】請求項15の発明は、請求項11記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、高額な登録料の広告メッセージ程、提供される確率を高くしたことを特徴とする。

【0021】請求項16の発明は、請求項4ないし9のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、前記広告提供手段は、広告内容を一覧表として表示することを特徴とする。

【0022】請求項17の発明は、請求項11ないし14のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、実際に提供された広告回数に応じて広告の登録料を算出する手段を設けたことを特徴とする。

【0023】請求項18の発明は、請求項11ないし14のいずれかに記載の電子対話用広告装置であって、提

供された広告に対して会話参加者が実際にアクセスした回数に応じて広告の登録料を算出する手段を設けたことを特徴とする。

【0024】請求項19の発明は、電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出し、該単語と一致する語句に関する広告を、広告内容を収納した前記広告用辞書から検索し、検索した広告を自動的に参加者に提供するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0025】請求項20の発明は、電子対話の参加者が入力した情報に基づき単語を抽出し、単語の電子対話における使用頻度をカウントし、該単語と一致する語句に関する広告を、使用頻度の高い単語を優先的にして、広告内容を収納した前記広告用辞書から検索し、検索した広告を自動的に参加者に提供するプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0026】請求項21の発明は、請求項20記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、参加者の入力情報における単語の頻度データを記憶手段に記憶させ、前記記憶手段から読み出した参加者の過去の単語頻度を加味し、単語を抽出するプログラムを記憶する。

【0027】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。

【0028】昨今、電子環境の普及により、チャット（電子対話）と呼ばれる一般ユーザー間での会話環境は日本国内はもとより、全世界レベルで可能になってきている。この会話環境において、会話内容に合致した広告を行なうことで会話参加者の関心がある広告を行ない、効率のよい広告を行なうことが可能となる。本発明はそのシステム構成において特徴を有するものである。

【0029】会話参加者の関心事項については、その発言内容をモニターし、その内容を認識するソフトウェアによって行なう。例えば、認識方法としては単語の一致検索等、従来からある翻訳システム等で用いられている手法を利用することができる。以下に、その手法を説明する。

【0030】図1は、チャット（電子対話）を行う装置構成を示す概略説明図である。チャットの構成は、ホストマシン1に、例えば端末A～Cが接続されていて、それぞれユーザー（会話参加者）A～Cがその端末A～Cからホストマシン1を介して他のユーザーA～Cと対話を行なうものである。

【0031】図2は、本発明に係るホストマシン内の広告装置の一実施形態を示すブロック図である。この広告装置1aは、チャット内容を記録する対話記録部2と、対話記録部2から単語を抽出する単語抽出部3と、広告内容を収納した広告辞書4と、抽出した単語と一致する語句に関する広告を広告辞書4から検索し選択する広告検索部5と、選択した広告を対話記録部2に記録する広

告提供部6とからなる構成である。

【0032】次に、この広告装置の動作について説明する。図3は、本発明に係る広告装置の第1の動作を示すフローチャートである。まず、ユーザーから端末を介してホストマシン1に対話内容である文字列の入力があると（ステップS11）、対話用記録部2に対話内容が記録される。

【0033】図4は、対話内容の一例を示す説明図である。1つの発言内容は

〔（発言者名）（境界）（発言内容）〕

という形式で、複数のユーザーの書き込んだ文章が記録される。この際の発言者名はハンドル名、ニックネーム等と一般的に呼称されている。このような形式で発言内容が複数個並べられて文字列を構成し、後述するようにユーザーにこの文字列が出力されて、端末に表示され、会話のやり取りがなされるシステムとなっている。

【0034】単語抽出部3により、対話記録部2に記録されている文字列から単語を抽出する（ステップS12）。このとき、各単語の使用頻度もカウントする。図4に示した対話内容を例にとると、この対話の文字列のなかに存在する、例えば、「旅行」、「海外」といった単語を抽出する。さらに「ブラジル」という単語を抽出し、この単語が2回使用されていることもカウントする。

【0035】広告検索部5が、抽出された単語と広告辞書4に記録されている広告用単語との一致があるかを検索し確認する（ステップS13）。一致があれば、該当する単語の広告内容を選択する（ステップS13）。即ち、「旅行」、「海外」、「ブラジル」と一致する広告用単語を広告辞書4から検索し、対話内で使用回数が多い単語を優先させ、海外旅行の広告の中から「ブラジル旅行」を選択する。

【0036】広告提供部6は、図5に示すように、海外旅行の広告に関し「ブラジル」の項目へのリンクを、
 広告：ブラジル旅行は[ここをクリック](#)
 という形式で対話記録部2に記録し、広告装置1aは各ユーザーに出力し、端末A、B、Cに表示する。各ユーザーは、その文字をクリックすると、その情報は、対話記録部2に記録され、広告検索部5に入力される。広告検索部5は更に詳しい広告内容を広告辞書5から選択し（ステップS17）、広告提供部7から対話記録部2に記録し、各ユーザーに出力される（ステップS18）。

【0037】こうして、単語抽出部3にカウンターを設け、それぞれの単語が何回使用されたかをカウントして、使用頻度の多い単語を優先して広告選択を行うので、参加者の話題に沿った広告を提供が可能となる。また、所定時間当たり何回、何人の会話参加者が発言したかを調べると、より話題に即した広告が可能となる。

【0038】選択した広告からどの順番に表示するかは次のように決定する。第1の決定手段は、検索した広告

をアトランダムに広告提供部 6 が広告を提供する。登録された広告メッセージを順不同で提供するので、広告主に対し公平性を保持できる。また、広告の登録料の高額のものほど提供確率を多くするように操作することも可能であり、この場合は高額な登録料を支払った広告主を優遇することになる。登録料は、広告辞書 4 に広告とともに記憶されており、広告検索部 5 が広告とともに登録料も読み出し、広告提供部 6 が登録料の高額のものほど提供確率を多くする。

【0039】第 2 の決定手段は、検索した広告の登録順に、広告提供部 6 が広告を提供する。広告辞書 4 に広告とともに登録順が記憶されており、広告検索部 5 が広告とともに登録順も読み出す。先に登録した広告主を優先することができる。

【0040】第 3 の決定手段は、検索した広告のうち登録料の高額のものから順に、広告提供部 6 が広告を提供する。登録料は広告辞書 4 に広告とともに記憶されており、広告検索部 5 が広告とともに登録料も読み出す。この場合も、高額な登録料を支払った広告主を優先することになる。

【0041】また、提供中の広告に対して会話参加者が異なる広告の入手を求めた場合、それが書き込まれた対話記録部 2 を介して広告検索部 5 に入手情報が入力され、その広告を広告辞書 4 から検索し、広告提供部 6 によってその広告を提供する。こうして、参加者がその時点で欲する広告を提供できる。

【0042】また、提供中の広告に対して会話参加者からの反応がない場合、自動的に広告メッセージの内容を変更するので、提供中の広告に対して会話参加者からの反応がなく、発言頻度の高い単語に変化がない場合、同じ系列の次の広告メッセージを表示する。また、以前に参照した広告をチェックしておくことにより、同一の広告を繰り返すことないようにすることができる。

【0043】このような広告表示以外に次のような広告表示がある。図 6 に示す広告表示は対話メッセージエリアと同一のウインドウ内に広告表示エリアを設けたものである。例えば HTML (Hyper Text Markup Language : 画像、音声、ビデオ等を含んでページが表現できる) 等のフレーム機能により広告エリアを設け、その中に HTML 等を用いて広告メッセージを表示する。このように、広告表示エリアを別枠で設けると、対話メッセージエリアは縮小されるが、対話内容の進行にかかわらず、広告を表示できる。

【0044】図 7 に示す広告表示は対話メッセージエリアの主ウインドウとは別に広告表示エリアとして別ウインドウを設けたものである。例えば J A V A S C R I P T 等により独立した広告表示エリアを設け、その中に HTML 等を用いて広告メッセージを表示し、または広告用のプラグインモジュールや専用アプリケーションにより広告する。このように、広告表示エリアを別ウイン

ドウで設けるので、対話メッセージエリアが縮小されることなく、広告表示エリアを設定できる。

【0045】図 8 は、本発明に係るホストマシン内の広告装置の他の実施形態を示すブロック図である。この広告装置 1 1 a は、参加者毎にチャット内容を記録する対話記録部 1 2 と、対話記録部 1 2 から参加者毎に単語を抽出する単語抽出部 1 3 と、広告内容を収納した広告辞書 4 と、抽出した単語と一致する語句に関する広告を広告辞書 4 から選択する広告検索部 1 5 と、選択した広告を対話記録部 1 2 に記録する広告提供部 1 6 と、参加者毎の抽出した単語と頻度のデータを記憶する単語データ記憶部 1 7 と、広告料算出部 1 8 とからなる構成である。

【0046】次に、この広告装置の動作について説明する。図 9 は、広告装置の動作を示すフローチャートである。ユーザーから端末を介してホストマシン 1 に対話内容である文字列の入力があると (ステップ S 2 1)、対話用記録部 1 2 に対話内容が記録される。単語抽出部 3 により、対話記録部 1 2 に記録されている文字列から参加者毎に単語を抽出する (ステップ S 2 2)。このとき、各単語の使用頻度もカウントする。さらに、単語抽出部 1 3 は、単語データ記憶部 1 7 から、過去の各参加者の単語データ (抽出単語とその使用頻度) を読み出すとともに、単語データ記憶部 1 7 に今回の抽出単語とその使用頻度を書き込む (ステップ S 2 3)。

【0047】ここで、各参加者を識別する手段は、例えば、会話参加者の IP (Information Provider) アドレスや会話参加者のハンドル、クッキーと呼ばれる通信情報などによって識別する。そして、これに基づいて、単語データ記憶部 1 7 から参加者のデータを読み出すとともに、今回のデータを書き込む。

【0048】広告検索部 1 5 は、各参加者毎に、今回の抽出単語と頻度及び過去の抽出単語と頻度に対し広告辞書 4 に記録されている広告用単語との一致があるかを確認する (ステップ S 2 4)。一致があれば、参加者毎に該当する単語の広告内容を選択する (ステップ S 2 5)。広告提供部 7 から選択した広告を対話記録部 2 に記録し、各ユーザー毎に出力される (ステップ S 2 6)。各ユーザーは、広告文字をクリックすると、その情報は、対話記録部 2 に記録され、広告検索部 5 に入力される。広告検索部 1 5 は更に詳しい広告内容を広告辞書 4 から選択し (ステップ S 2 8)、広告提供部 1 6 から対話記録部 1 2 に記録し、各ユーザーに出力される (ステップ S 2 9)。

【0049】ここで、広告料算出部 1 8 は、広告料を算出する手段であり、実際に実行された広告回数や、実際にアクセスした回数に応じて広告の登録料を算出する。例えば、旅行会社の広告参照回数を C G I (Common Gateway Interface) 等のカウンター技術を用いて加算したり、この場所を会話参加者がクリックしたか否かをブラ

ウザー側で確認し、アクセスしたことを知らせる情報をチャットのホストマシンにCGI等を用いて送る手法や、ホストマシン内におかれている広告内容に対して会話参加者がアクセスしているか否かを従来からの手法を用いて検索することで、実際に参照した回数を確認することができる。

【0050】こうして、参加者の過去の単語頻度を加味して、頻度の高い単語を抽出して広告を提供するので、電子対話の参加者の会話内容から参加者の嗜好が推測されることになり、その嗜好に合致した広告を自動的に参加者に提供することができる。しかも、参加者毎にそれぞれ異なる広告が行われるので、各参加者の嗜好にあった広告が提供でき、効率のよい広告を行うことができる。

【0051】また、発言者個々に合致した個別の広告メッセージを伝達してもよく、より個人の嗜好にあった広告を提供できる。また、音声で伝達することもでき、広告内容を音声データとしてブラウザや独立したアプリケーションにより再生することで広告メッセージを伝達することができる。更に発言者に直接電子メールで伝達することも可能であり、電子メールの内容をHTMLを用いることにより、より視覚的に広告メッセージを伝達することができる。

【0052】また次のようなチャット内容の場合、

B : パソコンがほしいんだけどさあ

A : シャープのパソコンどお？

B : けっこう良いみたいだけど、よくわからん

「シャープ」1回、「パソコン」2回という全体の発言数における発生頻度の高い複数の単語からパソコンが話題になっていることが推測できるので、会話中に、
広告： シャープのパソコンはこれだよ！

或いは、

広告： そのパソコンは <http://www.sharp.co.jp> をみてね

といった形で対話の中に広告の行を挿入し、広告先のリンクやURLを会話参加者に伝達することも可能となる。

【0053】このように広告辞書中の単語に対し複数個の一致が見られたときに、広告を行なうようにすると、広告回数や参照回数の確認も可能となり、より効果的で効率のよい広告を行なうことが可能となる。

【0054】更に、会話参加者が異なる広告の提供を求めたときは広告内容を変更する構成にし、提供した広告内容に会話参加者が興味を示さない場合は提供する広告を自動的に変更する構成にしてもよい。更にまた、広告内容を一覧表として表示するようにしてもよい。広告内容を一覧表としてURL (Uniform ResourceLocator) やリンクを表示する。

【0055】

【発明の効果】請求項1及び19の発明によれば、電子

対話の参加者の会話から抽出された単語に合致した広告を自動的に参加者に提供するので、会話参加者が今話題にしていることに関し、即ち、今興味を示している対象に関して広告メッセージを提供することにより、会話参加者の欲しい情報を即座に提供することができると共に、その情報に関して興味のない人には提供することはないので、効果的で効率のよい広告を行なうことができる。

【0056】請求項2及び20の発明によれば、電子対話において使用頻度の高い単語を優先的に広告検索を行うので、参加者の会話内容から推測された話題に合致した広告を自動的に参加者に提供することができる。

【0057】請求項3及び21の発明によれば、参加者の過去の単語頻度を加味して、頻度の高い単語を抽出して広告を提供するので、電子対話の参加者の会話内容から参加者の嗜好が推測されることになり、その嗜好に合致した広告を自動的に参加者に提供することができる。

【0058】請求項4の発明によれば、会話参加者毎に広告を行なうので、広告対象者のそれぞれに合致した広告メッセージを提供することができる。

【0059】請求項5の発明によれば、対話メッセージ内に広告メッセージを表示するので、参加者間で交わされる会話の中の発言と同じ表示エリアに広告メッセージを表示することができ、対話の一部として参加者に見てもらえるので、広告効率が高い。

【0060】請求項6の発明によれば、独立した広告表示エリアを同一ウインドウ内に設け、該ウインドウ内に広告メッセージを表示するので、対話の進行にかかわらず、広告を常に表示できる。

【0061】請求項7の記載によれば、独立した広告表示エリアを異なるウインドウ内に設け、該ウインドウ内に広告メッセージを表示するので、対話メッセージエリアを小さくせずに、広告を表示でき、対話の進行にかかわらず、広告を常に表示できる。

【0062】請求項8の記載によれば、広告メッセージを音声で提供するので、広告内容を音声データとしてブラウザや独立したアプリケーションにより再生することで広告メッセージを伝達することができる。

【0063】請求項9の記載によれば、広告メッセージを電子メールとして提供するので、電子メールの内容をHTMLを用いることにより、より視覚的に広告メッセージを伝達することができる。

【0064】請求項10の記載によれば、登録された広告メッセージをその登録順に提供するので、先に登録した広告主を優遇することができる。

【0065】請求項11の記載によれば、登録された広告メッセージを順不同で提供するので、広告主に対し公平性を保持できる。

【0066】請求項12の記載によれば、登録された広告メッセージに登録ランクを設け、高額な登録料のもの

から順に提供するので、高額登録料を支払った広告主を優遇できる。

【0067】請求項13の記載によれば、提供中の広告に対して会話参加者が異なる広告の入手を求めた場合、広告メッセージの内容を変更するので、参加者がその時点で欲する広告を提供できる。

【0068】請求項14の記載によれば、提供中の広告に対して会話参加者からの反応がない場合、自動的に広告メッセージの内容を変更するので、参加者の興味のない広告を変えることができ、常に参加者の興味を引く広告を提供できる。

【0069】請求項15の記載によれば、広告の登録料に応じて登録ランクを設け、高額登録料の広告メッセージ程、提供される確率を高くしたので、登録料が高い広告ほど頻繁に広告することになり、高額登録料を支払った広告主を優遇できる。

【0070】請求項16の記載によれば、広告内容を一覧表として表示する手段を有するので、広告内容を一覧表としてURL (Uniform ResourceLocator) やリンクを表示することができる。

【0071】請求項17の記載によれば、実際に提供された広告回数に応じて広告の登録料を算出する手段を設けたので、実際に提供された回数に応じて広告料を算出できる。

【0072】請求項18の記載によれば、提供された広告に対して会話参加者が実際にアクセスした回数に応じて広告の登録料を算出する手段を設けたので、実際に会話参加者が広告先のURLへアクセスした回数に応じて

広告料を算出できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】チャット（電子対話）を行う装置構成を示す概略説明図である。

【図2】本発明に係るホストマシン内の広告装置の一実施形態を示すブロック図である。

【図3】本発明に係る広告装置の第1の動作を示すフローチャートである。

【図4】対話内容の一例を示す説明図である。

【図5】対話メッセージエリア内に広告を表示した説明図である。

【図6】対話メッセージエリアと同一のウインドウ内に広告表示エリアを設けた説明図である。

【図7】対話メッセージエリアの主ウインドウとは別に広告表示エリアとして別ウインドウを設けた説明図である。

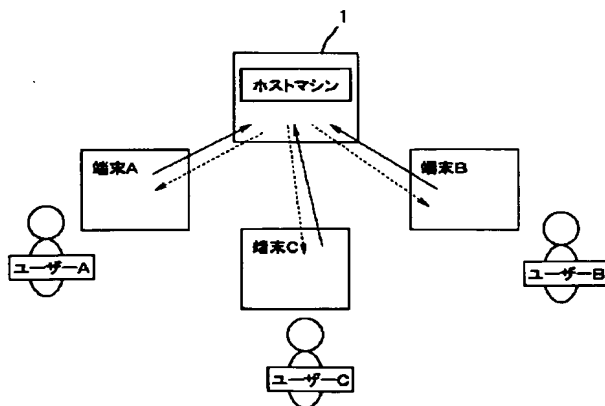
【図8】本発明に係るホストマシン内の広告装置の他の実施形態を示すブロック図である。

【図9】図8の広告装置の動作を示すフローチャートである。

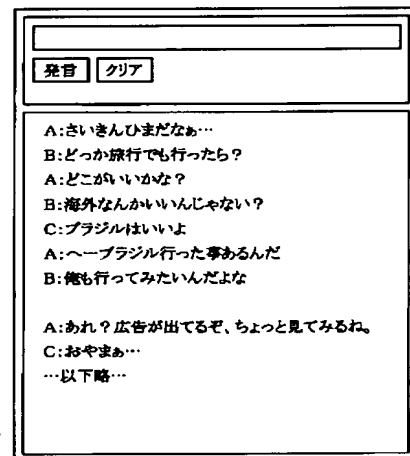
【符号の説明】

- 1 ホストマシン
- 1 a 広告装置
- 2 対話記録部
- 3 単語抽出部
- 4 広告辞書
- 5 広告検索部
- 6 広告提供部

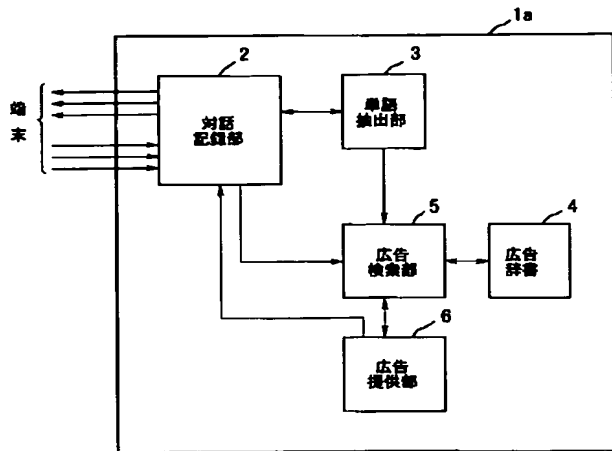
【図1】



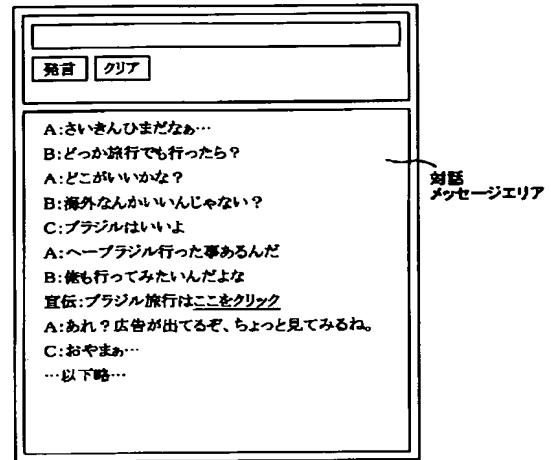
【図4】



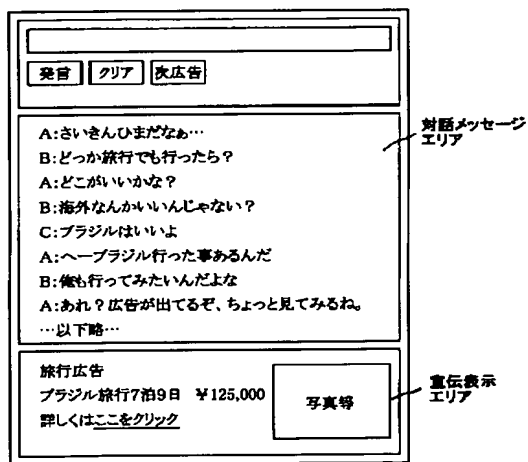
【図2】



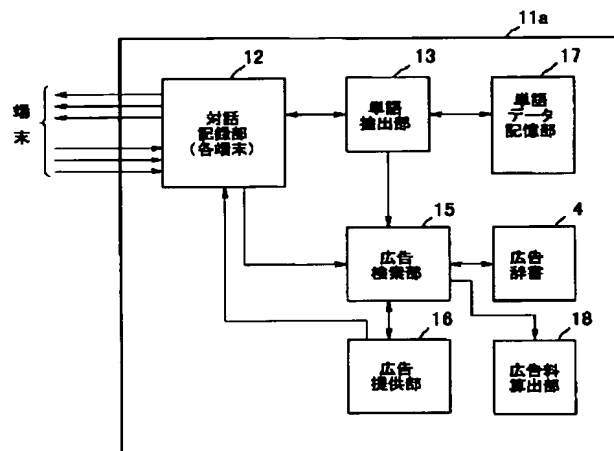
【図5】



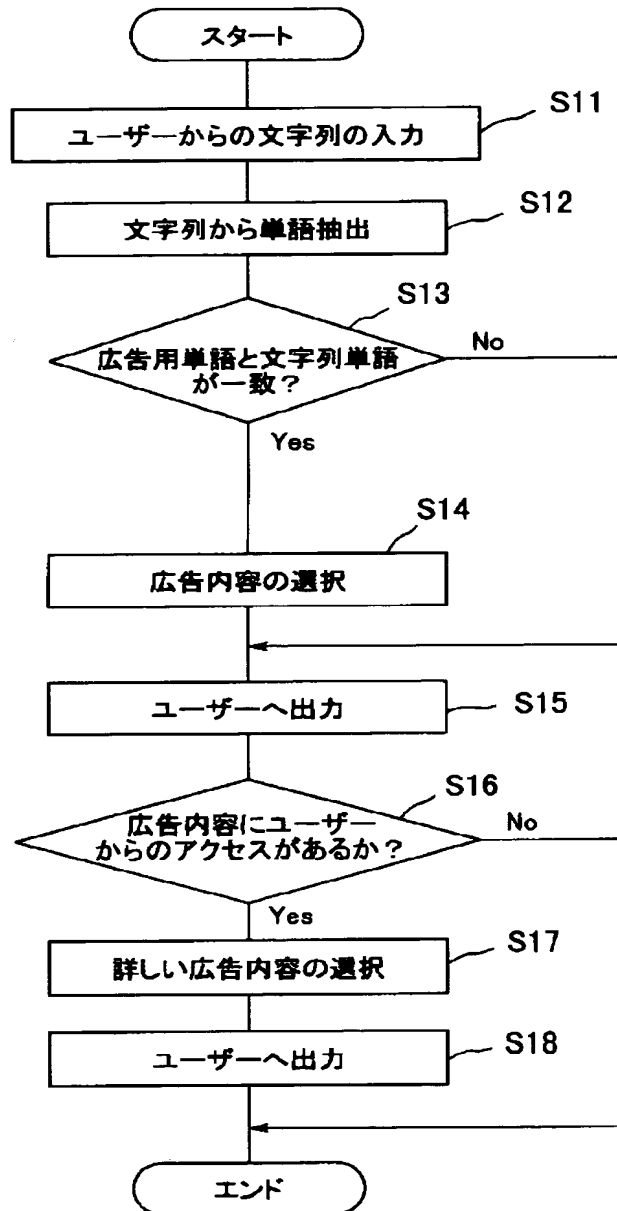
【図6】



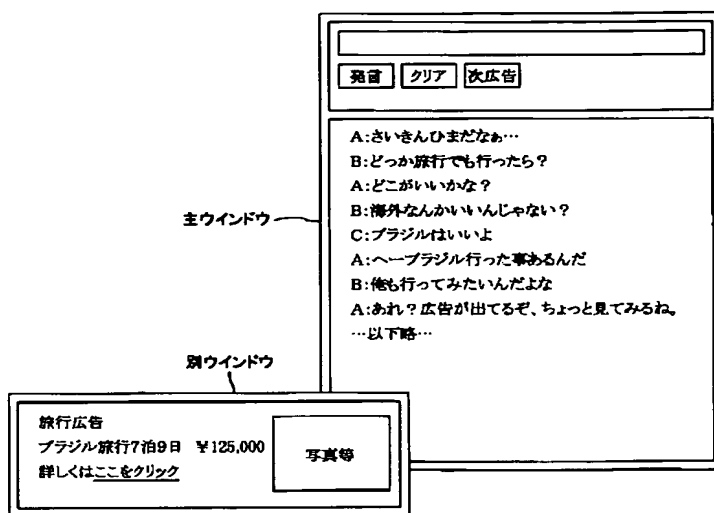
【図8】



【図 3】



【図 7】



【図9】

